



赤木小学校 通学路の合同点検



本市では平成24年度から、通学路の安全を確保し、交通事故を防止するために、国・県・市の道路管理者、警察、教育委員会、学校、PTA、地域の自治会連合会、交通安全関係団体等と連携して通学路の合同点検を行っています。令和2年度も危険箇所として各市立学校や地域の皆様からあげられた通学路の安全点検を実施しています。

日時：令和2年7月2日（木）

合同点検：午前7:25～午前7:40

点検箇所

対策会議：午前8:00～午前8:30

《赤木小学校の通学路》 富久山町久保田字乙高 地内 新大窪橋北側交差点



①

②

③

合同点検終了後、赤木小学校で対策会議を実施し、点検結果に基づきどのような対策を行うべきかについて協議しました。各関係者は協議内容を踏まえ、今後実施可能な対策を行い、児童生徒の通学路の安全確保を図っていくことが確認されました。

なお、今年度は『三密』を避けるため、屋外にて対策会議が実施されました。



【対策会議：赤木小学校】

対策案



【赤木小学校点検箇所の対策案】

- ◎ 交差点カラー化の復旧
- ◎ グリーンベルトの復旧
- ◎ 路面標示の設置
- ◎ ラバーポールの設置 等



※今回検討された対策案については、本年度中に内容を取りまとめ、方法や予算等について計画します。次年度以降、実施可能なところから対策を進めてまいります。

今年度第一回目の合同点検は、赤木小学校の通学路で実施されました。点検箇所となる富久山町乙高の交差点周辺では、新設道路の改良工事や河川の護岸工事が現在も続く中、新大窪橋開通に伴い、車の交通量が急増しています。

南北を貫く県道に細い市道が入り組む変形交差点は、旧国道4号（県道296号）への抜け道として東へと右左折する車両が絶えません。このため、交差点を横断することも達と自転車が車両と交錯する危険な状況が生じています。また、交差点北側からはカーブで見通しが悪く、ドライバーが交差点に気づかずスピードを出したまま通過する怖れもあります。

この箇所については、道路工事の完了後、県により以前交差点に設置されていたカラー舗装やグリーンベルト（歩行部を緑色にカラー化する）の復旧が予定されています。対策会議では更に追加の対策として、交差点へ注意を喚起する路面標示や歩道を分離するラバーポールの設置についても検討されました。

今回点検された箇所をはじめ、通学路上の危険箇所については、ご家庭や地域でもお子さんと一緒に話し合いいただき、『自分でしっかり安全確認』する習慣を身に付けるようご指導、ご協力をお願いいたします。

ドライバーの皆さん、
子ども達に優しい運転
を心がけて下さいね！

